

広げよう 交通安全の輪 ～第32回みんなですすめよう交通安全全国キャラバン隊伝達式～

8月30日（月）、東通村体育館駐車場において、各地区交通安全母の会や老人クラブ、児童館などから約200名が参加し、『第32回みんなですすめよう交通安全全国キャラバン隊伝達式』が実施されました。

本事業は、全国に交通安全の意識を広めようと実施されているもので、青森県では、県交通安全母の会の間宮安子会長を隊長とするキャラバン隊が、県内市町村を巡り、交通安全を呼びかけました。

伝達式では間宮隊長から村交通安全母の会の二本柳玲子会長へキャラバン隊旗が引継がれ、内閣府特命担当大臣のメッセージが伝達されました。

式典後に開催された交通安全教室では、白バイの乗車体験やシートベルトコンビンサーによる自動車事故の衝撃の体験ができ、参加した児童たちは機動隊員と一緒に白バイに乗ったり、事故時におけるシートベルトの重要性を体験しました。また、大人を対象としたドライビングシミュレーションもあり、参加者は運転技術の確認をしていました。



キャラバン隊旗の引き継ぎ



東通中学校吹奏楽部による演奏も行われました



白バイに乗ってにっこり！



事故の衝撃とエアバッグにびっくり！



運転時の注意点を再確認

八戸高等専門学校生がまちづくり整備課で就業体験

8月23日～27日までの5日間、八戸工業高等専門学校4年の坂本諒君（老部地区出身）が、東通村まちづくり整備課において校外実習を行ないました。

同校の行う「校外実習」は、一般的なインターンシップに比べ期間が長く、また、実習内容も専門的なものであり、坂本君は、村内主要建築物の実地調査や道路補修といった業務を体験しました。

今回の経験が能力の向上や将来の職業選択に役立ってくれば良いと思います。



5日間にわたり様々な業務を体験しました